

2009年1月29日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

## 加齢黄斑変性症治療剤「ルセンティス®」に関する 共同プロモーションの合意について

ノバルティス ファーマ株式会社(代表取締役社長：三谷宏幸)は、このたび、ノバルティス ファーマが1月21日に製造販売承認を取得した加齢黄斑変性症治療剤「ルセンティス®」[一般名：ラニビズマブ(遺伝子組換え)]について、日本アルコン株式会社(代表取締役社長：トム・ドゥーリー)と1月29日より共同プロモーションを行うことで合意いたしました。

今回の合意は、より広範な情報提供活動により、必要とする全ての患者さんにルセンティスを届けたいと願うノバルティス ファーマと、最新の技術を眼科医や患者さんに提供したいという日本アルコンの意向が合致したことから実現したものです。

合意した主な内容は、以下のとおりです。

- ノバルティス ファーマ眼科領域営業部の医薬情報担当者(MR)と日本アルコン サージカル事業部営業部の担当者は、網膜硝子体専門医に対して、両社で分担して情報提供を行う。
- 日本アルコン医薬品事業部営業部のMRは、上記以外の眼科医に対して情報提供および専門医の紹介などを行う。

ノバルティス ファーマは、2004年に発売した加齢黄斑変性症治療剤「ビスサイン®静注用」の情報提供で築いた基盤をもとに、ルセンティスの情報提供活動を行います。また、眼科領域に強固な基盤を持つ日本アルコンは、より多くの専門医への情報提供を行い、さらに専門医以外の眼科医に対しては、情報提供及び治療を必要とする患者さんのために専門医の紹介などを行います。

なお、製造、流通、販売につきましてはノバルティス ファーマが行います。

ノバルティス ファーマ 社長 三谷宏幸は、「眼科領域に特化し、眼科医療の分野で強固な基盤を築いている日本アルコンのパートナーシップを得られたことを大変嬉しく思います。より多くの眼科医に有効性・安全性に関する情報を提供することで、ルセンティスの可能性を最大限に発揮し、これまで以上に加齢黄斑変性症の患者さんのお役に立てることを願っています」と述べています。

今回、両社が強みを活かした共同プロモーションを行うことにより、ルセンティスの豊富なエビデンスや適正情報をより多くの眼科医に提供し、また、ルセンティスによる治療を必要としている患者さんが、一日も早く治療できるようになるものと期待しています。

## ルセンチスについて

「ルセンチス」は、遺伝子組換え技術により創製された抗VEGF\*<sup>1</sup>ヒト化モノクローナル抗体のFab断片\*<sup>2</sup>です、加齢黄斑変性症における脈絡膜新生血管の発症に関与するVEGFと複合体を形成することにより、VEGFの作用を抑制し、新生血管の発生並びに進展を抑制します。本剤は米国で2006年6月に発売以来、現在、世界70カ国以上で承認されています。

\*<sup>1</sup> vascular endothelial growth factor 血管内皮増殖因子

\*<sup>2</sup> 抗体が抗原に結合するFabと呼ばれる部分を抗体の本体から切り離した断片のこと

## ノバルティス ファーマ株式会社について

ノバルティス ファーマ株式会社は、スイス・バーゼル市に本拠を置くヘルスケアにおける世界的リーダー、ノバルティスの医薬品部門の日本法人です。ノバルティスは約98,000人の社員を有しており、世界140カ国以上で製品を販売しています。2007年の売上高は381億米ドル（約4兆4,925億円）で、当期純利益は65億米ドル（約7,717億円）、研究開発費は64億米ドル（約7,552億円）です。詳細はインターネットをご覧ください。

<http://www.novartis.co.jp/>

本リリースには、現時点における将来の予想と期待が含まれています。従って、その内容に関しては、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる場合があることをご了解ください。

以上